

## 別記様式(第4条関係)

## 会議録

会議の名称	第14回加東市地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成31年1月16日(水)午後1時40分から午後3時10分まで
開催場所	加東市役所 2階 201会議室
議長の氏名(副会長 藤井 洋治)	
出席及び欠席委員の氏名	
＜出席委員＞	
・西 美紀雄(代理)	・青木 勇人(代理)
・畑 敏幸	・山本 桂一(代理)
・久保 正信	・藤井 洋治
・平井沙智子	・竹内 圭一
・橋本 匡史	・小林 吉人
・水田 節男(代理)	・大谷健太郎(代理)
・藤本 辰男	・古丸 剛
・友藤富士子	・山本 智康
・柳 博之	・藤井 康平
・田中 和美	
＜欠席委員＞	
・秋山 秀則	・小幡 修司
・難波 安彦	・兒山 真也
・芹生 昇	・土井 勉
・吉村 進吾	
オブザーバーとして出席した者の職氏名	
・兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課副課長 正垣あおい	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	
・まちづくり政策部企画政策課長 小林 勝成	・まちづくり政策部企画政策課副課長 下岡 正裕
・まちづくり政策部企画政策課主査 白井 隆寛	・まちづくり政策部企画政策課主事 藤崎 純平
1 議題等	
○協議事項等	
・加東市の公共交通施策に係る平成30年度取組状況の報告について	
・加東市の公共交通施策に係る平成31年度取組予定について	
・平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価について	
・自家用有償旅客運送(米田ふれあい線)の変更登録について	
・自家用有償旅客運送(とうじょうあいあい線)の新規登録について	
2 資料名	
・加東市の公共交通施策に係る平成30年度取組状況(資料No.1)	
・加東市の公共交通施策に係る平成31年度取組予定(資料No.2)	
・平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価(資料No.3)	
・自家用有償旅客運送(米田ふれあい線)の変更登録(資料No.4)	
・自家用有償旅客運送(とうじょうあいあい線)の新規登録(資料No.5)	
3 会議の経過	
⇒別紙「第14回加東市地域公共交通活性化協議会・会議の経過」のとおり	

平成31年3月13日

副会長

藤井 洋治

(別紙) 第14回加東市地域公共交通活性化協議会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
委員	<p><b>1 開会 藤井副会長</b></p> <p><b>2 新委員紹介 山本委員</b></p> <p><b>3 協議事項等</b></p> <p>(1) 加東市の公共交通施策に係る平成30年度取組状況の報告について (資料No. 1) 事務局から説明</p> <p><b>【質疑応答等】</b></p> <p>公共交通の利用目的として通勤以外に通学もあり、交通弱者は高齢者等だけでなく児童・生徒もいる。社三田線の運行ルートの変更と米田ふれあい線の利用区間拡大がされたとき、高齢者等は米田ふれあい号で対応してもらえらると思うが、自転車で通学できない状態で、かつ、保護者も送迎ができない児童・生徒は、乗合タクシー等で対応してもらえるのか。おそらく、地元説明会をしたとき、高齢者等は来るが、児童・生徒やその保護者は来ないことが十分に考えられるので、児童・生徒の通学手段を十分に考えてもらいたい。</p> <p>また、中国自動車道の社パーキングエリアから滝野・社インターまで高速バスに乗れば、そこで乗り換えて、西脇方面や小野方面に行けるが、社三田線久米経由が無くなったら、社パーキングエリアまで行く移動手段がなくなってしまうので、何か代替手段を確保していただきたい。しかも、社パーキングエリア周辺は夜が非常に暗く、高校生や大学生であれば、帰宅時間が夜の7時や8時になることもあるので、非常に暗いなか自転車で帰宅するのは不安が残る。高校生や大学生などの安全確保を含めた方策を考えていただきたい。</p>
事務局	<p>社三田線の上久米大日前から社高校までの区間については、久米経由と嬉野台生涯教育センター経由の2つに分かれている状況であり、嬉野台生涯教育センター経由の方が、利用者が多い状況である。社三田線の利用者数が減少傾向にあり、社三田線を存続させていくには、利用者数の多いルートに集約していく必要がある。このような状況があり、加東市地域公共交通網形成計画では、社三田線を嬉野台生涯教育センター経由に集約し、久米経由が廃止された区間は、米田ふれあい線の利用区間を拡大させることで対応することとしている。</p> <p>ご指摘のとおり、米田ふれあい線の利用区間拡充については、高齢者等の移動手段の確保が主な狙いとなっている。今後も同様の状況が続くかは分からないが、ICカードの利用データ等を確認すると、高校生でこの区間を利用している方は少ないようである。中学生については、小中一貫校の開校を目指し準備を進めている状況であり、開校後の通学方法はまだ決まってないので、開校準備の中で調整していきたいと考えている。小学生の通学についても同様である。</p> <p>児童・生徒の市内のバスの利用については、兵庫教育大学附属小・中学校に通われている方、小野方面、西脇方面、吉川方面などの市外の高校に通われている方、大学生の方が主ではないかと認識している。利用が少ないのは、運賃が問題なのか、乗り継ぎが問題なのか、原因は何なのか探っていき、どのような対応ができるか調査・研究を進めている。そのなかで、高校生の通学手段の確保についても対応していきたいと考えている。</p>

委員	<p>米田地区から西脇方面の高校に通う場合、社での結節が非常に悪く、バスの乗り継ぎがスムーズにいかないことから、公共交通機関であるバスを利用せず、保護者が自家用車で学校まで送迎しているとよく聞く。また、自転車で通われている高校生もいるが、遠距離で、街路灯が少ない道も多く、危ないと感じている話も聞く。</p> <p>もし、中国ハイウェイバスの西脇行きが朝の早い時間帯に運行されれば、社パーキングエリアから高速バスに乗って西脇方面に通学できるようになるので検討してもらいたい。</p>
事務局	<p>社での結節の円滑化については、バス事業者と協議をして改善していくようにする。中国ハイウェイバスの運行時間については、市域を跨ぐ路線に関することになるので、沿線市町を含めてバス事業者と協議をするようにする。</p> <p>(2) 加東市の公共交通施策に係る平成31年度取組予定について (資料No. 2) 事務局から説明</p>
委員	<p><b>【質疑応答等】</b></p> <p>「高速バスの一層の利便性向上による定住化・交流の促進」を進めるには、高速バス利用者の駐車場の確保が必要だと思う。古いデータになるが、地域公共交通網形成計画の46ページを見ると、滝野社インター停留所周辺や高速東条停留所周辺の駐車場は利用率が100%になっていないが、高速社停留所周辺の駐車場は利用率が100%になっている。高速バスの利便性をアピールするのであれば、利用しやすいよう駐車場の確保にも取り組んではどうか。</p> <p>また、大阪若しくは神戸へ行くのに高速バスを利用する際、自分も社パーキングエリア周辺の駐車場を利用するが、満車であることが多く、駐車したいときに駐車できないことがある。休日は少しですが、平日は常に区画数を越える自動車が、枠外や側道の脇に停まっており、通行の妨げになっているときもある。社パーキングエリアの利用者で停留所まで家族等に送迎してもらって来ている方もいると思うので、そういった方がどのくらいいるか調べてはどうか。</p>
事務局	<p>駐車場の整備となると、土地の確保などが必要になってくるため、直ぐに対応するのは難しい。そのなかで考えているのが、やしろショッピングパークBio周辺に整備するバスターミナルに隣接したパーク&amp;ライド用の駐車場の整備である。新しく整備するバスターミナルから大阪方面行きの高速バスの発着を目指し、神姫バスや西日本ジェイアールバスと協議しており、これを実現することで、高速バスの利便性向上と駐車場の確保につなげたいと考えている。</p> <p>高速バス停留所までの交通手段の確認については、高速バスの利用者へのヒアリング調査のなかで対応していくようにする。</p> <p>(3) 平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価について(資料No. 3) 事務局から説明 質問等なし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価を承認</li> </ul>

	<p>(4) 自家用有償旅客運送(米田ふれあい線)の変更登録について(資料No. 4) 事務局から説明 質問等なし</p> <p>・ <b>自家用有償旅客運送(米田ふれあい線)の変更登録を承認</b></p>
委員(代理)	<p>(5) 自家用有償旅客運送(とうじょうあいあい線)の新規登録について (資料No. 5) 事務局から説明</p> <p><b>【質疑応答等】</b> 関係機関との調整についてお聞きするが、1点目は、地区内フリー乗降制度を導入するに当たり、警察との協議は完了しているのか。2点目は、運行ダイヤについて、過剰な運行は避けるとともに、既存公共交通機関との連携を図ることを基本に設定するとしているが、バス事業者やタクシー事業者などとの協議は完了しているのか。この2点について確認させていただきたい。</p>
事務局	<p>地区内フリー乗降制度の導入については、事前に警察と協議を行い、問題ないことを確認している。</p> <p>既存の公共交通機関との調整については、神姫バスとファイブスタータクシーの両者との協議は完了している。</p>
オブザーバー	<p>想定している主な利用者、利用者数の見込みを教えてください。</p>
事務局	<p>想定している主な利用者は、高齢者を想定している。</p> <p>利用者数については、大畑、蔵谷、藪地区でアンケートを実施し、自主運行バスを今すぐ利用したい方が51人、3年以内に利用する方が67人であった。利用頻度については、週1回以上利用したい方が3割を超える結果となった。これらのことから、利用者されたい方は、かなりの数いると考えている。3月に試験運行を予定しているので、そこで詳細な利用者数を確認できると考えている。</p>
委員(代理)	<p>運転手の点呼のことについて確認したいが、とうじょうあいあい線でも、点呼を対面でされると思うが、自家用有償運送では法的義務はないが、アルコールチェックはされるのか。また、これまでどのように管理し、今後どのように管理していくのか教えてください。</p>
事務局	<p>点呼については、運行日当日の朝に、体調などをチェックシートなどで確認するのに合わせ、簡易のアルコール検査機を使用してアルコールチェックを行い、管理している。今後も同様に管理していく。</p> <p>・ <b>自家用有償旅客運送(とうじょうあいあい線)の新規登録を承認</b></p> <p><b>4 その他</b> <b>【委員(代理)報告】</b> 中国ハイウェイバスの停留所について、滝野停留所から滝野町農協前停留所に変更してほしいと要望をいただいていたが、西日本ジェイアールバスと話し合いを重ね、実現する環境が整ったので、平成31年4月から、滝野町農協前に停留所を移す。これまで停車していた滝野停留所は通過し、代わりに、利用者には滝野町農協前で乗り降りしてもらうようになる。正式に決定したので、報告させていただく。</p>

	<b>5 閉会</b>
--	-------------